

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 救急部・石川陽平

【研究責任者】

聖路加国際病院 救急部 石川陽平

【研究代表者】

埼玉医科大学病院 救急科 上條吉人

過量服薬で救急受診をされた方を対象とした、バルビツール酸系睡眠薬過量服用の実態調査

1. 研究の対象

2007年4月1日から、2017年3月31日までの10年間に、ベゲタミンAまたはB錠®、またはペントバルビタール・カルシウム（ラボナ®）錠を単剤で加療服用して当院に救急搬送された方。

または、トリアゾラム（ハルシオン®、その他のジェネリック薬品を含む）錠、ゾルピデム（マイスリー®、その他のジェネリック薬品を含む）錠、エチゾラム（デパス®、エチカーム®、その他のジェネリック薬品を含む）錠のいずれかを単剤で加療服用して当院に救急搬送された方

2. 研究の目的・方法

日本中毒学会、事例調査・研究委員会が手動して、全国の救急医療施設に搬送されたバルビツール酸系薬物による急性中毒患者の背景・臨床症状・治療経過・予後などを集積・解析することを目的としております。本研究は2019年3月まで施行予定である。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2019年3月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

年齢、性別、睡眠薬の商品名、および服用量など。

なお、データには個人を特定できる情報を一切含みません。

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究主幹施設へのデータの提供は、個人を特定できる情報を一切含まず、匿名化された状態で郵送にて行います。

5. 研究組織

- ・ 研究主幹施設：埼玉医科大学病院 救急科（ER・中毒センター）
- ・ および、日本中毒学会の学会員が所属する救急医療施設